

2022 年 7 月 21 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 松山 哲人
(4571 東証グロース)
問合せ先 IR担当 土屋 千映子
電話番号 03-3241-0553

今後の成長戦略について

昨日、VB-111 の主要評価項目未達成をお知らせいたしました。治療法のない領域に新たな医薬品をお届けできることを期待し、開発に邁進してまいりましたが、開発に携わるすべての社員が悔しさをかみしめております。

本治験にご参加いただいた患者様およびご家族の皆様、医療関係者、さらには VB-111 の可能性に期待を持ってご支援下さいました投資家の皆様に心より感謝申し上げます。

当社は、引き続き、成長戦略としてアンメットメディカルニーズに応える製品の開発や導入を推進し、医療現場で求められている医薬品を提供できるよう活動を推進してまいります。現在の手元資金約 60 億円を有効に活用し、数年以内に上市が見込める後期臨床製品や欧米で承認されているが日本では未承認薬などを中心に拡充し、ENT103 に次ぐ製品の獲得を図ってまいります。

<パイプラインの状況>

ENT103 は、2022 年 4 月に中耳炎および外耳炎を適応症として製造販売承認申請済みで、来年度には販売できる見通しです。NC-6300 は、臨床試験を完了しライセンス交渉中です。

核酸医薬のパイプラインは、初期ステージから製薬企業とアライアンスすべく、医師主導治験に向けた開発を AMED からの資金を活用し、順調に進めております。また、複数の企業と mRNA、ASO 医薬に関する共同研究も既に開始しており、さらなる共同研究・開発の拡充を目的として活動中です。これらにより初期ステージから持続的に収益を得る予定です。

ご参考：核酸パイプライン一覧

NC-6100 siRNA 医薬 トリプルネガティブ乳がん

状況：第 1 相 医師主導治験実施中

TUG1 ASO 医薬 膠芽腫（脳腫瘍の一種）

状況：非臨床試験実施中（AMED 採択：年間最大 7,700 万円×3 年）

2023 年度の臨床入りを目標

RUNX1 mRNA 医薬 変形性膝関節症

状況：非臨床試験実施中（AMED 採択：1 課題あたり最大 10 億円）

2023 年度の臨床入りを目標

以上